

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 8 月 13 日 (2020.8.13)

【公表番号】特表 2019-521389 (P2019-521389A)

【公表日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報 2019-030

【出願番号】特願 2018-568251 (P2018-568251)

【国際特許分類】

G 0 2 C 7/04 (2006.01)

【F I】

G 0 2 C 7/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 7 月 3 日 (2020.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

コンタクトレンズであって、

光学的ゾーンおよび該光学的ゾーンを取り囲む周辺領域と、

後方中心点を有する後方光学的ゾーン面および後方周辺ゾーンを含む後方面と、

前方中心点を有する前方光学的ゾーン面および前方周辺ゾーンを含む前方面と、

を含み、

該後方光学的ゾーン面および該前方光学的ゾーン面のうちの一方が、トーリック光学的ゾーン面であり、該後方光学的ゾーン面および該前方光学的ゾーン面のうちの他方が、非トーリック光学的ゾーン面であり、

該後方中心点および該前方中心点は、両該中心点と交わる中心線が該トーリック光学的ゾーン面に対し、その中心点において垂直であるように互いに整列し、

該後方光学的ゾーン面および該前方光学的ゾーン面は、互いに対して偏心しておらず、

該前方光学的ゾーン面および該後方光学的ゾーン面が互いに対して傾斜してそれらの間の傾斜角を定めるように、該非トーリック光学的ゾーン面はその中心点において該中心線に対して非垂直であり、それによって光学的ゾーンにおいてプリズムを形成し、

該後方周辺ゾーンおよび該前方周辺ゾーンは、該コンタクトレンズの該周辺領域を画定し、

該周辺領域の厚さプロファイルは、放射状に画定され、

該周辺領域の厚さプロファイルが該傾斜角から独立するよう、該前方光学的ゾーン面および該後方光学的ゾーン面が互いに対して傾斜している該傾斜角は、該光学的ゾーンに制限されている、コンタクトレンズ。

【請求項 2】

前記後方光学的ゾーン面はトーリック光学的ゾーン面であり、前記前方光学的ゾーン面は非トーリック光学的ゾーン面である、請求項 1 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 3】

前記前方光学的ゾーン面はトーリック光学的ゾーン面であり、前記後方光学的ゾーン面は非トーリック光学的ゾーン面である、請求項 1 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 4】

前記傾斜角は、0.1 度と 5 度との間の大きさを有する、請求項 1 記載のコンタクトレ

ンズ。

【請求項 5】

前記傾斜角は、0.5 度と 2 度との間の大きさを有する、請求項 4 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 6】

前記傾斜角は、約 1 度の大きさを有する、請求項 5 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 7】

前記周辺領域の前記厚さプロファイルは、放射状の増分で画定される、請求項 1 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 8】

少なくとも 12 個の放射状の増分を含む、請求項 7 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 9】

少なくとも 24 個の放射状の増分を含む、請求項 8 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 10】

前記周辺領域の下部区域における放射状厚さプロファイルの最大厚さは、該周辺領域の上部区域における放射状厚さプロファイルより大きい、請求項 1 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 11】

前記前方光学的ゾーン面は球面である、請求項 2 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 12】

前記前方光学的ゾーン面は非トーリック非球面である、請求項 2 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 13】

前記前方光学的ゾーン面は、前記光学的ゾーンの屈折矯正に所定量の球面収差を付与するための非球面である、請求項 12 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 14】

前記後方光学的ゾーン面は球面である、請求項 3 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 15】

前記後方光学的ゾーン面は非トーリック非球面である、請求項 3 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 16】

前記後方光学的ゾーン面は、前記光学的ゾーンの屈折矯正に所定量の球面収差を付与するための非球面である、請求項 15 記載のコンタクトレンズ。

【請求項 17】

前記非トーリック光学ゾーン面は多焦点面である、請求項 1 記載のコンタクトレンズ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

図 1 または図 2 は、本発明の様々な態様によるトーリックコンタクトレンズを概略的に図示する。トーリックコンタクトレンズ 10 は、光学的ゾーン 11 および縁端部 40 で終わる周辺領域 13 を含む。トーリックコンタクトレンズ 10 は、後方面 20 および対向する前方面 30 を含む。後方面 20 は、後方中心点 22 を有する後方光学的ゾーン面 21 および後方周辺ゾーン 23 を含む。図示される実施形態において、後方光学的ゾーン面 21 は、トーリックである。前方面 30 は、前方中心点 32 を有する前方光学的ゾーン面 31 および前方周辺ゾーン 33 を含む。図示される実施形態において、前方光学的ゾーン面 31 は、非トーリックである。